

大和中央道他4路線の廃止及び高山富雄小泉線の変更 都市計画(案)説明会概要(6/8)

日 時:平成24年10月6日(土) 14時00分～15時00分
場 所:奈良市中町 富雄南公民館
出席者:約23名

[主な質疑応答]

1.大和中央道他4路線の見直し(都市計画道路の変更・廃止)に関すること

○都市計画道路を廃止するというが、現状の休日の道路混雑についてはどう考えているのか。

→県では、幹線道路の整備率が低いことが原因で、幅員の狭い生活道路に通過交通が流入し、混雑していると考えている。枚方大和郡山線の中町地内を4車線で整備するなど、幹線道路の整備に力を入れていきたい。

2.高山富雄小泉線の変更(新規都市計画決定)に関すること

○道路の線形は現計画のほうがスムーズだと思われるが、なぜ線形を曲げてまでして、砂茶屋交差点を通さなければならないのか？

→都市計画道路高山富雄小泉線の未着手の区間を廃止する。現道の枚方大和郡山線が交通量を受け持つことが可能と考えられるためである。

第二阪奈有料道路の側道に富雄川を挟んでセパレートで道路をつなぐと、交差点の形状が井桁型になってしまい、交通処理が困難になる。

また、砂茶屋橋の西側には、第二阪奈有料道路の橋脚があるため東側にしか交差点を設けることができない。これらのことから、セパレートにするのではなく、交差点を東側に集約し、渋滞を解消したいと考えている。

現道拡幅は、支障物件が多く、沿道住民に移転してもらう必要があることや、事業費が大きくなることから、現道の東側を通るルートとなった。

○変更区間の北側は、現道に接するところまで4車線で整備した時点では、県は現計画で南へ整備する予定であったのであろう。

現計画では、支障物件も多くコストも大きいため、事業がやりにくいことは理解できるが、もっと早い時期に計画を廃止すべきだった。

○高山富雄小泉線のうち、変更後の中町地内のルートは、幅員22mの道路を新しく作るということか？現道の枚方大和郡山線はなくなるということか？

→現道の枚方大和郡山線はそのまま、それとは別に4車線の幅員22mの道路を整備するということである。

○家屋はつぶさないのか？

→現道沿いには家屋が多く、家屋が支障とならない田の中を通すルートとしている。

○現計画から変更することについてメリット・デメリットやコスト比較について説明がない。

→県では平成42年の将来交通量が処理できるか等の観点で見直しをしている。県では個別に事業費の比較はしていない。

○現道拡幅もありえるのか。

→枚方大和郡山線は、2車線区間をどのように繋ぐかについて比較検討したところ、現道拡幅は並

行して河川があり、多数の家屋が支障となるということもありできない。

○配布された資料の地図では、現況の建築物等がわからない。

→本日は都市計画の説明会であり、配布できるものとしてこのレベルの資料を配っている。会場に2500分の1の図面を掲示している。

○第二阪奈有料道路側道の交差点および丸山橋の交差点は、立体交差にできないのか。交通量の増加により、信号待ちによる渋滞が悪化するのではないか。

→側道交差点は立体交差とすると、第二阪奈有料道路を越える必要があるため難しい。

交差点を集約することにより、渋滞解消につながると思うので警察等と協議しながら進めていきたい。

○第二阪奈有料道路の中町ランプより側道に降りてくるところで年4、5回交通事故が起きている。対策を考えているか。

→第二阪奈有料道路から降りてくる車両については、事業を進める中でどういう安全対策がとれるのか警察等と協議し考えていきたい。

○工事着工までのスケジュールはどのようになっているのか。

→12月に都市計画審議会に諮り、都市計画を決定し、今年度中に測量・設計に着手していきたい。用地取得の状況によるので、一概にいつから着手ということとは言えないが、ある程度まとまって用地が取得できたところから工事着手するということもありえる。

3.地区内道路の整備に関すること

○奈良市は、歩道や信号機の設置が遅れていると思う。車の通行が困難な箇所がたくさんあるので生活環境を踏まえて、大和中央道の廃止の検討をしてほしい。

→大和中央道を整備しない場合、地域内の道路を整備しないと、歩行者等が危険な状態が解消されないと認識しており、また、新奈良病院への西の京駅からのアクセスもあるので、現在、市と連携して、歩車分離など生活道路の整備について検討しているところ。

○現国道308号は、幅員が狭く、車の対向に苦労している。尼ヶ辻までは、路線バスも通っている。この周辺の東西方向の道路は、阪奈道路と、ならやま大通りしかない。

自治連合会を通じて市議会議員に要望しているが、この場でも国道308号の整備についてお願いしておく。

4.その他

○丸山団地の中に（高山富雄小泉線の一部区間の）幅員22mの道路が約200m完成し供用されている。若い人がサーキットの様なことを行うことがあり、近隣住民が迷惑している。計画道路が廃止された場合、この道路の扱いはどうなるのか。

→高山富雄小泉線については、社会情勢、周辺の道路のネットワークの変化により、廃止を考えている。丸山団地内の幅員22m道路は残ることとなる。

高山富雄小泉線の4車線道路を新設することにより、渋滞については解消されると思われる。

○この道路の中央分離帯の草刈り等、維持管理を町内会で行っている、コンクリートで固める等の対策を考えて欲しい。県でしっかり管理をしてほしい。